

1、ストライキで闘う大衆的労働組合運動の再生へ

西武百貨店池袋本店での1日ストは、物価高騰と実質賃金の低下に苦しむ多くの労働者人民を励まし、共感を集めた。実力闘争はもとより大衆的な諸行動をいっさい忌避してきたこの国の労働組合運動主流の体たらくが逆説的に浮き彫りになった。わたしたちは、この講座で、原則的に闘ってきた労働組合の経験を継承し、その栄光と困難、達成と課題を真摯に学びたい。階級的・大衆的な労働組合運動の再生へ向けた水路を切りひらくために。

① 11月11日(土) 尹錫悦退陣！を掲げる民主労総(映像と報告)

——韓国 の 11・11 全国労働者大会と民衆総決起に連帯！

日本の労働者・労働組合は何をつかみ取るべきか

講師＝土松克典（韓国労働運動研究）

② 12月9日(土) オリジン労働者50数年の闘いから

——わたしが後輩に伝えたい総括の視点

講師＝二瓶久勝（元オリジン労働組合委員長・元国鉄闘争共闘会議議長）

③ 12月20日(水) ストライキについて話そう！

——労働運動の復権をめざして

講師＝兒玉聖史（自治労中央本部青年部長）

高野飛鳥（中部全労協事務局長）